

殺虫殺菌剤
箱王子粒剤

クロチアニジン・スピネトラム・イソチアニル粒剤

令和6年9月11日付けで以下の適用拡大が登録されました。

【変更内容】

- ・作物名「稲（箱育苗）」のスピネトラムを含む農薬の総使用回数「3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）」を「3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）」に変更する。
- ・作物名「湛水直播水稻」のスピネトラムを含む農薬の総使用回数「3回以内（は種時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）」を「3回以内（は種時までの処理は1回以内、本田では2回以内）」に変更する。

【変更部分】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	スピネトラムを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 内稃腐変病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) ウカ類 ツグロコバイ イネズガムシ イネトイムシ コメテウ フタビコガ コブメイガ イネトシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の 床土又は 覆土に均 一に混和 する。	4回以内 (移植時 までの処理は 1回以内、 本田での 散布、 空中散布、 無人航空機散布 は合計 3回以内)	3回以内 (移植時 までの処理は 1回以内、 本田では 2回以内)	3回以内 (移植時 までの処理は 1回以内、 本田では 2回以内)
		高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50~100g)						
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ~移植当日		育苗箱の 上から均 一に散布 する。			
		高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50~100g)						

前頁より続く

【変更部分】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カブアジンを含む農薬の総使用回数	スピロラムを含む農薬の総使用回数	イソチアールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イソチアール	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内 (移植時 までの処理は 1回以内、 本田での 散布、 空中散布、 無人航空機散布 は合計 3回以内)	3回以内 (移植時 までの処理は 1回以内、 本田では 2回以内)	3回以内 (移植時 までの処理は 1回以内、 本田では 2回以内)
		高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50～100g)						
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前		育苗箱の 床土又は 覆土に均 一に混和 する。			
		高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50～100g)						
育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50～100g)	は種時 (覆土前)	育苗箱の上から均一に散布する。					
				育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	育苗箱の上から均一に散布する。			
湛水直播 水稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネツトムシ キュウジガガンボ	1kg/10a	は種時	は種同時 施薬機を 用いて土 中施用す る	4回以内 (は種時 までの処理は 1回以内、 本田での散布、 空中散布、 無人航空機散布 は合計 3回以内)	3回以内 (は種時 までの処理は 1回以内、 本田では 2回以内)	3回以内 (は種時 までの処理は 1回以内、 本田では 2回以内)	

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

住友化学株式会社